



校長だより

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠



災害から得た教訓を胸に刻み続ける

阿賀地区で発生した土石流



他県から給水のために阿賀に
かけつけてくださいました。



西日本豪雨災害から5年目を迎えます。その教訓を生かし、本年度も既に「土砂災害対応携帯マニュアル」の全家庭配付、自然災害対応マニュアルの再点検、引き渡し訓練等に取り組んだところです。この防災週間(7/3~7/8)には、当時の様子を振り返るとともに1分間の黙祷(7/6)、「呉市防災教育のための手引き」を使った授業の全学級実施、防災食の展示等に取り組むことにしています。

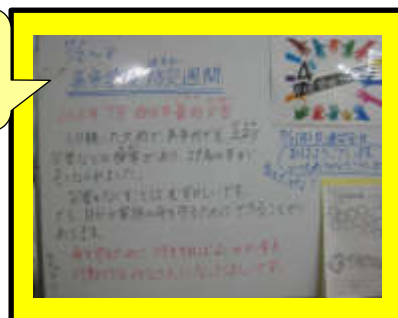
5年前のあの日、いたるところで想定をはるかに超える洪水や土砂崩れが発生しました。もう、もとの日常に戻ってこないのではないかと思えるような復興に莫大なエネルギーを費やす日々が長く続きました。当たり前だと思っていた生活が、実は当たり前ではないということを感じ知らされました。人は人に支えられて生きているということやお互いに助け合うこと、力を合わせる大切さを改めて実感しました。「最悪を想定した備えや早めの行動」の大切さを改めて痛感しました。

7/6は、こういった災害から得た教訓を改めてしっかり胸に刻み込む1日にしたいと思います。

災害食コーナー(ランチルーム)~奥川栄養教諭による~



防災週間を呼びかける学年ホワイトボード



本校体育館に備蓄されている災害避難用品

